

70 快適な牛床マット

福島県畜産試験場 酪農部・平成12年度畜産試験場成績概要

1 部門名 畜産一乳用牛一飼養技術 分類コード 07-01-47410000

2 担当者 壁谷昌彦・阿部正彦・小林寛・籠橋太史

3 要 旨

牛床の素材や状態が悪い場合、フリーストールであれば、牛は自ら休息場所を選ぶことができるため、牛床の利用率から牛床の性能をある程度判断できる。一方、繋ぎ飼い方式では、牛は繋留により自由に休息場所を選べないことから、牛床による牛への影響を判断するために別の方法を用いる必要がある。一般に、牛床素材の性能では、起立・横臥動作の安全性が重要視される。そこで、繋ぎ飼い牛舎において、牛床素材の種類が牛に与える影響を検討するために、1)自由な動きができるペンを対照区として、2)一般的なゴムマット(硬質ゴムマット)及び3)ゴムチップマット(ファイバー状ゴムチップ成形、ポリエステル製防水カバー)を用いて、異なる牛床上での牛の起立・横臥行動の比較を行った。

(1)1日の横臥時間はペンに比べ、硬質ゴムマットで短くなり、ゴムチップマットで長くなる傾向がみられた。

(2)横臥回数は、硬質ゴムマット、ゴムチップマットの両方でペンよりも多くなる傾向がみられた。

(3)1回当たりの横臥時間は、ペン>ゴムチップマット>硬質ゴムマットの順で、硬質ゴムマットが最も短く、ゴムチップマット、ペンの順に長くなる傾向がみられた。

以上の結果より、硬質ゴムマットとゴムチップマットの比較では、横臥回数では違いがみられなかったが、横臥時間においてはゴムチップマットの方が長くなり、ゴムチップマットの方が快適性がすぐれていると思われる。